

ハトムギ栽培情報 第1号

平成23年 5月
氷見市農業技術者協議会

いよいよハトムギの作付けが始まります。

基本技術を励行し、良質で安定したハトムギ生産に取り組みましょう。

1. 作業スケジュールの目安

作業項目	作業日	(例)
耕起 1回目	播種 14日前	5 / 3
	播種 7日前	5 / 10
砕土・整地	播種 3日前～前日	5 / 14
浸種・消毒・ 風乾 (3日間)		5 / 14～16
播種・覆土・鎮圧	播種当日	5 / 17
除草剤散布	播種当日～ 2日後	5 / 17

2. 栽培ほ場の準備

- ① 1～2回程度の耕起を行ったあと、ドライブハローで砕土・整地する。
- ② 粘質性の高いほ場では、砕土・整地後、速やかに播種を行う。
- ③ 湿害による発芽不揃いを防止するため、額縁排水路を設置する。

3. 種子消毒と浸種

葉枯病の防止を兼ねた浸種を行う。
消毒剤：ベンレートT水和剤20
浸種期間：3日間（72時間）
播種：浸種後風乾してから播種

10aあたりの必要量（目安）
種子3kg + 薬剤75g + 水15ℓ

- 留意点1：薬剤は沈殿しやすいので、消毒ムラがないように時々攪拌する。
留意点2：使用済薬剤は河川等に流さず、周囲に影響のない地点を選定して土壌表面に散布
留意点3：播種予定日に降雨が予想される場合には、浸種を切り上げ播種を優先する。

4. 施肥

分施の場合	基肥 ひみ1号 30kg / 10a	追肥（播種後40～50日頃） LPコート100 30kg / 10a
基肥一発肥料の場合	LPsハトムギ専用45kg / 10a	

5. 播種

- ・播種量 3.0kg / 10a
- ・条間 80cm、株間 13cm 1株当たり2～3粒
- ・播種深度 3～4cm
- ・スプロケットの組合せ
線出軸スプロケット10 - 駆動軸スプロケット14

6. 播種後～出芽前までの除草剤散布

薬剤名	適用雑草	回数 方法	10a当り薬量、希釈水量
サターンバアロ乳剤	水田1年生雑草	1回 全面土壌散布	500ml / 100ℓ
ゲザプリムフロアブル	畑地1年生雑草	1回 全面土壌散布 砂土除く	200ml / 100ℓ

または

ラッソー乳剤	1年生雑草	1回 全面土壌散布	600ml / 100ℓ
--------	-------	-----------	--------------